

日常食事の回数は、概して我國人の如く、三食なるも、四食を用ゆる部落亦多し。民族の文野は、概ね生活状態を見て知り得らるるなり。然るに此の纏頭回種族は例外とす。即ち其の一方より觀れば、太古の石器時代と相距ること遠からざる半牧半農の初期に在るに似ず、飲食の方面に至ては、既に上述の如く發達せるは奇と謂はざるを得ざるなり。而も其の原料の配劑と云ひ、野菜との調和と云ひ、滋養に富むと云ひ又其の飲料と云ひ、果物を用ひて消化、血行を調助すると云ひ、身體に大害ある酒を用ひざる等、實に衛生上、好適飲食にして、毫も文明國民に劣る所なきに非ずや。

哈薩克

哈薩克は羊肉、牛乳又は粟粥をて常食とす。其豚肉を食用せざるは、宗規を確守するに因る。粟粥は、粟の粉に羊乳或は牛乳適宜混交して煮たるものなり。而して彼等は野菜を用ふること無し。然るに該族中、一人の壞血病者を見ざるは、惟ふに草食動物の乳と、茶を多量に用ゆる爲めならん乎。

馬乳酒

飲料物は、牛乳に砂糖を加味せし茶と、馬乳とを用ゆ。馬乳とは、酸味を帯びたる一種の酒なり。其の之を用ゆるは、夏季幼馬の乳離れし時(六月初頃)より、數ヶ月の